



〒630-8580

奈良市二条大路南一丁目1番1号

奈良市議会事務局 ☎(0742)34-4734

■発行／奈良市議会

■編集／奈良市議会広報広聴委員会



6月定例会

猿沢池のキョウチクトウと興福寺

議長に北良晃氏を選出 副議長に伊藤剛氏を選出

本市議会は、令和4年5月31日から6月20日までの21日間を会期として6月定例会を開きましたが、全ての議案審査が終了した17日に閉会しました。

この定例会では、市長より議案14件、諮問6件が提出され、12件の報告を受けました。

市長が提出した案件のうち、議案第60号4年度一般会計補正予算については修正案が提出されましたが、修正案を否決して、原案どおり可決しました。

その他の議案13件については、原案どおり可決、原案に同意または原案を承認し、諮問6件については原案に同意しました。

また、議長・副議長の選挙を行い、議長に北良晃氏、副議長に伊藤剛氏を選出すると共に、常任委員会等の委員の選任などを行いました。

目次

- ◆就任のあいさつ 2
- ◆新しい議会の構成 2・3
- ◆そこが知りたい
質疑・一般質問 4～7
- ◆議会の情報 7
- ◆補正予算等特別委員会 7
- ◆議案等の議決結果と
その賛否 8
- ◆第9回議会報告会を
開催しました 8

就任のあいさつ



議長 北 良晃



副議長 伊藤 剛

市民の皆様には、平素より市議会に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私どもは、このたびの6月定例会におきまして、歴史と伝統ある奈良市議会の議長及び副議長の重責を担わせていただくこととなりました。その職責の重さに誠に身の引き締まる思いであり、適切な議案審議はもとより、円滑な議会運営に努めてまいれる所存でございます。

さて、昨今の新型コロナウイルス感染拡大や、不安定な国際情勢、更には物価の高騰により、市民の皆様の生活環境や地域経済は、大きな影響を受けております。また、持続可能な地域・社会の実現や、デジタル技術による社会や生活の変革といった新たな取り組みの推進が求められ、本市の厳しい財政状況の中で、時代の流れや社会状況の変化によるさまざまな課題に対応していくことが重要であると存じます。

そのような中で、二元代表制の一翼を担う市議会といたしましても、市政の発展と市民生活の向上のために、議員一人ひとりがこれまで以上に研鑽を積み、一層の資質向上に努めると共に、慎重な審議と活発な議論を積み重ね、議会活動に邁進してまいれる所存でございます。

今後とも、何とぞ格段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

新 し い 議 会 の 構 成

(令和4年6月17日現在)

総務委員会

委員長

田畑日佐恵
広報広聴委員
(公明党奈良市議会議員団)

副委員長

阪本美知子
議会運営委員
(明日の奈良を創る会)柳田昌孝
(日本維新の会奈良市議団)山口裕司
広報広聴委員長
(日本共産党奈良市議会議員団幹事長)横井雄一
広報広聴委員
(自民党奈良市議会・結の会)森田一成
(自民党奈良市議会・結の会幹事長)中西吉日出
(無所属)

観光文教委員会

委員長

道端孝治
議会運営委員
(自民党奈良市議会・結の会)

副委員長

岡本誠
(無所属)塚本勝
(自民党奈良市議会・結の会)佐野和則
議会運営委員
(日本維新の会奈良市議団)早田哲朗
議会運営委員
(公明党奈良市議会議員団)鍵田美智子
議会運営委員
(明日の奈良を創る会)北村拓哉
(日本共産党奈良市議会議員団)伊藤剛
副議長
(公明党奈良市議会議員団)

厚生消防委員会



ます い た か し
梶井隆志
広報広聴委員
(日本共産党奈良市議員団)



おか ひろ のり
岡田浩徳
広報広聴委員
(無所属)



やま で てつ し
山出哲史
(明日の奈良を創る会)

副委員長



しらかわけん た ろう
白川健太郎
議会運営委員
(日本共産党奈良市議員団)

委員長



きた よし あき
北良晃
議長
(自民党奈良市議会・結の会)



さか い たか え
酒井孝江
(無所属)



く り ゆう じ
九里雄二
議会運営副委員長
(公明党奈良市議会議員団)



おお た こう じ
太田晃司
議会運営委員長
(自民党奈良市議会・結の会)

市民環境委員会



みや いけ あきら
宮池明
(公明党奈良市議会議員団)



えの もと ひろ かず
榎本博一
広報広聴副委員長
(自民党奈良市議会・結の会)



やま おか とし き
山岡稔季
広報広聴委員
(日本維新の会奈良市議団)

副委員長



や お とし ひろ
八尾俊宏
議会運営委員
(自民党奈良市議会・結の会)

委員長



ない とう さと し
内藤智司
(明日の奈良を創る会幹事長)



やま もと なお こ
山本直子
(日本共産党奈良市議員団)



しも むら ち え
下村千恵
広報広聴委員
(無所属)

建設企業委員会



おお にし あつ ふみ
大西淳文
(日本維新の会奈良市議団幹事長)



やま もと かず ひろ
山本憲宥
広報広聴委員
(自民党奈良市議会・結の会)



ふじ た さち よ
藤田幸代
(公明党奈良市議会議員団)

副委員長



ひ ぐちせい じろう
樋口清二郎
広報広聴委員
(明日の奈良を創る会)

委員長



もり おか ひろ ゆき
森岡弘之
広報広聴委員
(公明党奈良市議会議員団幹事長)



つち だ とし お
土田敏朗
(自民党奈良市議会・結の会)



いの うえ まさ ひろ
井上昌弘
議会運営委員
(日本共産党奈良市議員団)



まつ いし せい いち
松石聖一
(無所属)

6月3日・6日・7日の
本会議では、24人の議員
(うち代表質問5人)が
質疑・一般質問を行いま
した。
以下は、質問と答弁の
要旨です。(発言順)



代表質問

**県域水道一体化への参加
市民と県民双方の利益を
自民党結の会 道端 孝治**

問 県が進めようとしている
県域水道一体化について、市
の考えは。また、市民の利益
だけでなく、県民全体の利益
についてどのように考えてい
るのか。

市長 企業団への参加につ
いて、現在、中立の立場で慎重
に検討している。全ての関係
市町村が協議に柔軟に対応し
ていく姿勢が必要であり、市
民の利益が最優先である一方、
中核市として一定の
責任を果たし貢献す
ることも重要である。



**切れ目ない子育て支援
どのように充実させるのか**

公明党 伊藤 剛

問 市子どもセンター開設に
伴い、どのように切れ目のな
い支援の充実を図るのか。

市長 児童相談所機能が加わ
ったことで、関係機関が必要
な情報を即座に共有し、継続
的に連携した支援体制を取れ
るようになった。令和5年度

に発足することも家庭庁の状
況などを注視しつつ、児童虐
待、子どもの貧困、ひとり親
の支援、保育行政など様々な
子育てに関わる課題
にしっかりと取り組
んでいきたい。



切れ目ない子育て支援を

**東アジアでの平和の枠組み
構築のための外交努力を**

日本共産党 北村 拓哉

問 「核兵器には核兵器」「軍
事には軍事」のエスカレーシ
ョンでは平和は築けない。紛
争を戦争にしないためには、
分断・排除ではなく、東アジ
アに包摂的な「平和の枠組み」
を築く外交努力こそ政治の
役割と考えるが、市長の認識
は。

市長 紛争を戦争にしないた
めには対話が重要である。国
家間では築くことが難しい

ながりを都市間や市民間で築
き、自治体として国
際平和に積極的に貢
献したい。



**県域水道一体化のスキーム
段階的な広域化の検討を
明日の奈良を創る会 阪本美知子**

問 広域化の先進事例である
香川県では水道料金統一は10
年後、広島県では料金も事業
認可の統合も先送りしている。
奈良県が料金と水道事業の統
合を同時に進めるのはハード
ルが高く、エリアごとの段階
的な広域化などスキームの見
直しも検討すべきではないか。
企業局長 まずは県が示した
方向性への結論を表明するこ
とが第一義であり、別の枠組
みについては協議会
の総意として判断し
ていくべきと考える。



**若者世代の移住・定住
保育環境の充実を**

日本維新の会 山岡 稔季

問 保育環境の充実が若者や
共働き世帯の移住や定住につ
ながる大きな要素と考える。
移住・定住を見据えた保育環
境の整備や待機児童の解消に
ついて市の取り組みは。

個人質問

**スケートボード練習場
市内にも設置を
自民党・結の会 塚本 勝**

市長 民間保育所の誘致や特
に小規模保育事業所の設置を
優先的に対応し、また公立の
幼保施設の統合再編や民間委
託により受け皿の強化に努め
てきた。その結果、令和4年
4月1日段階で待機
児童は8名まで減少
している。



問 他府県では公共施設とし
てスケートボードパークが設
置されている。本市におい
ても、公共施設としてスケート
ボード練習場が必要である
と思うが、市の考えは。



安全に練習できるスケートボードパークを

市長 市内にも安全に練習で
きる場所を整備してほしいと

いう声をいただいている。企業版ふるさと納税や国からの交付金を活用して鴻ノ池運動公園を再整備し、年度内には新たにスケートボードパークを設置する予定である。



防犯カメラ設置事業 通学路の安全対策を優先に

公明党 森岡 弘之

問 防犯カメラの設置について、特に通学路の安全対策を優先するように求めてきたが、令和4年度中に増設する計画に反映されているのか。

危機管理監 市民の安全・安心に寄与し更なる防犯力の向上を目的とし、合計200台の整備のうち、通学路への安全対策強化として学校・通学路周辺に概ね100台を整備するものであり、通学路の安全対策を優先すると
の考えを反映した計画となっている。



特別障害者手当制度の周知 ホームページの改善を

日本共産党 井上 昌弘

問 特別障害者手当は毎月2万7350円が支給される国の制度だが、制度の周知が不

十分である。市のホームページには、支給を受けられない方の基準の一つに「施設入所者」が挙げられているが、有料老人ホーム、グループホームなどはここである「施設」には当たらない。誤解を招く表現ではないか。

福祉部長 対象施設を具体的に示すなど、より分かりやすい記載となるよう修正したい。



青色防犯パトロールへの 活動費支援を 明日の食を創る会 樋口清二郎

問 青色防犯パトロールに対する活動費などの支援を市として実施すべきではないか。



青色防犯パトロールによる
登下校の見守り活動

西谷副市長 青色防犯パトロールは、犯罪の未然防止、特に子どもの登下校の見守りに大きな効果があり、安全・安

心なまちづくりにとって大切な活動である。一方で、ボランティアの方の善意に頼っているのが現状であり、市としても、この活動に対する支援について検討していくことが必要であると考えている。



市内全域をポイ捨て禁止に 市の考えは 日本維新の会 大西 淳文

問 平成30年12月定例会において、ポイ捨て禁止区域を市内全域に拡大し、飼い犬のふんの放置等の禁止項目も加えるなど、見直してはどうかと提案し、市長は検討すると答弁されたが、何ら改められていない。区域の拡大についてどのように考えているのか。



市内全域をポイ捨て禁止区域に

市長 近畿の中核市では全域でポイ捨て禁止となっている

ところが多く、本市でも全域を対象にしていくなきではないかという認識を持っている。



地域と行政の在り方 市の業務委託の今後は 無所属 岡田 浩徳

問 地域自治協議会の発足から3年が過ぎ、良い効果が出ている一方で、地域への市の業務委託は進んでいない。令和5年度には何らかの業務委託を約束してもらえるか。また、今後地域が主体となる機会は増えると考えているのか。

市長 可能なことは今年度から対応していきたい。また、行政が直営で担える範囲は限界が来ており、地域自治協議会のような新しい仕組みづくりが重要であると考えている。



視覚障害者の事故防止へ 踏切前に点字ブロックを 自民党 結の会 横井 雄一

問 令和4年4月、近鉄橿原線の大和郡山市内の踏切内で、全盲の方が電車に接触し亡くなる事故があった。事故防止のため、奈良市内の踏切前に点字ブロックを設置して

もらいたいが、市の方針は。
市長 今回の踏切事故を受け、安全対策の必要性を認識している。国土交通省のバリアフリー指針を基に、鉄道事業者、道路管理者、関係団体等が揃う奈良市移動等円滑化促進協議会に諮り、早急に対応していきたい。



臨時交付金を活用した 買い物支援の強化を 公明党 田畑日佐恵

問 コロナ禍における物価高騰に伴う生活応援として、子育て世帯生活応援商品券の配布や生活応援プレミアム付商品券の発行が予定されているが、月ヶ瀬を含む東部地域や市街地における移動販売車の買い物に商品券を使えるようにできないか。

市長 月ヶ瀬などの東部地域や市街地で移動販売車を運行している各民間事業者と、今回の商品券が利用できるようにそれぞれ調整を進めている。



子育て世帯全般に 継続的な支援を 日本共産党 山本 直子

問 コロナパンデミックや急

激な物価高騰が起こる中で、困窮世帯のみならず子育て世帯全般に、一時的ではなく継続的な支援が求められるが、市長の考えは。

市長 今回の市の給付は国の給付制度に合わせた形としたが、住むまちによって受けられる子育て支援に差があるということには疑問を感じる。ナショナルミニマムとして、国が取り組むべき課題が数多くあると考える。



正規職員の育児休業に伴う人員の補充が不十分では

明日の奈良を創る会 山出 哲史

問 育児休業中の正規職員の代替には、月に12日勤務のパートタイム会計年度任用職員を充てると聞いている。封入封緘、発送や窓口業務など定型的な業務を担う会計年度任用職員が正規職員の業務を半分の勤務日数で行えるとは思えないが、市長の考えは。

市長 本来は正規職員での代替が望ましい。必要な業務であれば会計年度任用職員の週5日勤務は可能と指示しており、適正な配置に努めていきたい。



県総合医療センター跡地利用の方向性は

日本維新の会 柳田 昌孝

問 令和4年度末に撤去工事完了予定の県総合医療センター跡地について、県や地元との協議の状況や、跡地利用の方向性はどうか。

都市整備部長 県の役割が十分見えてこないといった地元からの指摘もあることから、県に対し、これまでの意見を反映したまちづくりを検討するよう申し入れており、県から一定の方針が示された段階でまちづくり協議会の開催に向けた調整を始めた。



DV相談支援体制拡充への認識は

無所属 下村 千恵

問 DV相談支援センターでは、開所している週6日のうち4日は相談員一人体制であり、相談者からの電話を受けられない時間がある。今後の事業体制について、どのように認識しているのか。

向井副市長 相談件数は年々増加傾向にあり、潜在的な事例も多く埋もれているように思う。市民が安全かつ安心して暮らせるよう、必要な時に相談できる相談支援体制を整える必要があると認識している。

て暮らせるよう、必要な時に相談できる相談支援体制を整える必要があると認識している。



サニタリーボックス

男性トイレへの設置を

自民党・結の会 榎本 博一

問 前立腺がんなどの影響で尿漏れパッドを使用する方が近年増加傾向にあり、男性トイレにサニタリーボックスを設置する動きが広がっている。これまでの取り組みと今後の拡充について市の考えは。

総務部長 議員からのご指摘を受け、本庁舎北棟1階及び東棟1階の男性トイレに設置しており、その旨を周知していく。今後の拡充については、使用状況を確認の上、他のトイレへの設置の可否を検討したい。



3歳児健診での弱視発見 屈折検査機器の早期導入を

公明党 早田 哲朗

問 子どもの視覚機能は急速に発達し、6歳から7歳までにほぼ完成する。弱視等の発見には、健診の際、専用機器を用いて屈折異常などを調べ、屈折検査が有効とされてお

り、検査機器の早期導入が必要と考えるが、市の見解は。

健康医療部長 乳幼児の3歳6か月児健診は、弱視を発見し治療につなげる重要な機会と考えている。今後、屈折検査機器の導入に向け、関係機関との調整も含め検討していく。

**奈良工業高校の跡地活用
防災公園整備の進捗は**

日本共産党 榎井 隆志

問 奈良工業高校が閉校になり13年が経っている。地区自治連合会と地域住民でつくる高校跡地の利活用を求める会では、県と市に、近隣住民の避難場所として防災公園を整備できないか申し入れ、話し合いを続けてきた。進捗はどうか。



現在の奈良工業高校跡地(秋篠町)

都市整備部長 跡地は土壌汚

染が確認されており、県の実施する土壌汚染対策の状況を注視している。土地所有者である県の協力が重要と考えている。



お一人様社会に対応する 葬送業務の考え方は

明日の奈良を創る会 鍵田美智子

問 墓地や納骨堂等の霊苑整備の検討を進めるに当たり、葬送業務への多様な市民ニーズ、例えば合葬墓や樹木葬など、様々な視点から検討していく必要が生じているが、市長の考えは。

市長 近年の葬送に対する価値観の変化や家族形態の多様化等により、従来の供養の在り方に負担を感じる方が出てきている。自治体としてどのような役割を担うことができるのか、引き続き検討したい。



市街地での鹿による被害 市民の意識向上を

日本維新の会 佐野 和則

問 鹿に鹿せんべい以外の餌を与えないことや、市街地で見掛けたら愛護会に通報するなど、市民一人ひとりの意識を高める必要があると思うが、



都市計画道路網の見直しを(水上池)

問 水上池は続日本紀に登場する松林苑の一部で、聖武天皇が宴会を開き、離宮のほか薬草園や菜園、動物園もあり、古墳群の周囲の濠も庭園に取り込まれていた。都市計画道路でこの文化価値の高い水上池を埋め立てるのは問題である。計画を変更しないのか。

市の考えは。
教育部長 鹿による被害と餌やりとの関係について、関係部局と連携しつつ、SNSや市民だより等で啓発を図ることが必要と考える。また、県が策定した天然記念物「奈良のシカ」保護計画の実施に当たり、関係機関と連携していく。



**水上池の埋め立て
都市計画道路の計画変更を**

無所属 酒井 孝江

市長 昭和13年6月に国が都市計画決定し、昭和46年に県に権限移譲された。市では令和4年度から市全体の都市計画道路網を見直す予定である。



**バンビーホームの保育環境
施設改善と職員確保を更に**

無所属 岡本 誠至

問 少子化傾向にある中で、本市ではバンビーホームを利用する児童は増加傾向にある。子どもたちが安全・安心に生活することができるよう、良い保育環境を整えるため、施設の改善や常勤職員の確保をどのように進めるのか。
市長 施設整備等、より良い保育環境の整備のため、引き続き必要な取り組みを行っていく。また、職員募集の広報にも工夫を行い、必要な職員確保に努めていきたい。



議会の情報

**内藤議員に表彰状
（全国市議会議長会）**

第98回全国市議会議長会定期総会において、内藤智司議

員が議員15年以上表彰を受けました。

請願

令和4年3月定例会で提出され、総務委員会へ付託した次の請願について、委員会における審査の結果、不採択とすべきとの報告があり、本会議で採決し、不採択と決しました。

△土地利用規制法の廃止を求める意見書決議の請願書

熊田眞幸氏
他32人

**補正予算等
特別委員会**

委員長	森岡弘之
副委員長	榎本博一
委員	山出哲史
	岡本誠至
	白川健太郎
	太田晃司
	柳田昌孝
	山口裕司
	九里雄二
	松石聖一
	北良晃

この定例会では、11人の委員で構成する補正予算等特別委員会を設置して令和4年度一般会計補正予算等を審査す

ることとしました。

補正予算等特別委員会は、6月7日に正副委員長の互選・資料要求、10日に質疑を行い、委員会に付託された議案11件を慎重に審査しました。採決の結果、議案についていずれも可決、同意または承認すべきものと決しました。主な質疑は次のとおりです。

ここでは、質疑のあった主な項目のみ記載します。詳しくは市議会ホームページの録画中継等でご確認ください。

議案第49号

● 固定資産税と都市計画税の負担調整措置の見直し内容

議案第57号

● 対象地域拡大に伴う都祁学校給食センターの体制

議案第60号

- 地方創生臨時交付金を活用した事業の予算の執行状況
- ドローンを利用した消防団情報収集部隊の運用
- 3回のワクチン接種の効果
- 小中高等学校での年間の電力基本単価料金の推移
- 住民税課税の境界付近の所得層への支援策
- 若い年代を対象にした3回



- 日集団接種実施の考え
- 生活困難者への支援施策の全庁的な情報共有・検討
- 農福連携の取り組みを踏まえた地域再生計画
- 関西電力への切り替えによる料金単価の妥当性
- 校舎屋上への太陽光発電設備設置の際I S値が基準値未満の場合の対応
- 本市における電力確保の重要性
- 創業機運醸成プロジェクトの詳細と実施の意図
- キウイ以外の作物の高収益作物試験栽培
- トイレ改修予定のメデイカル奈良の利用者数
- 災害時におけるトイレの問題についての認識
- 伝統工芸事業者支援の選考の概要

議案等の議決結果とその賛否

○：賛成 ×：反対

件名		議決結果	会派名（一部略称）					無所属					
			自民党・結の会	公明党	日本共産党	明日の奈良を創る会	日本維新の会	岡田浩徳	岡本誠至	下村千恵	松石聖一	酒井孝江	中西吉日出
◆議案													
予算	令和4年度一般会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正		可決	全会一致									
	手数料条例の一部改正		可決	全会一致									
	市税条例等の一部改正		可決	全会一致									
	個人市民税の控除対象となる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例の一部改正		可決	全会一致									
	特定都市河川流域における浸水被害の防止に関する条例の制定		可決	全会一致									
	市営住宅条例の一部改正		可決	全会一致									
	消防団員等公務災害補償条例の一部改正		可決	全会一致									
	学校給食センター条例の一部改正		可決	全会一致									
その他	市長専決処分の報告及び承認を求めること（市税条例の一部改正）		承認	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	財産の取得（大型ビジョン等設備機器）		同意	全会一致									
人事案件	教育委員会の委員の任命（桺澤 保徳氏）		同意	全会一致									
	人権擁護委員の候補者の推薦（野原 純子氏）		同意	全会一致									
	人権擁護委員の候補者の推薦（堀 英則氏）		同意	全会一致									
	人権擁護委員の候補者の推薦（安田美紗子氏）		同意	全会一致									
	人権擁護委員の候補者の推薦（粕谷 正文氏）		同意	全会一致									
	人権擁護委員の候補者の推薦（小東 昭一氏）		同意	全会一致									
	人権擁護委員の候補者の推薦（瀬古口浩之氏）		同意	全会一致									
	監査委員の選任（横井 雄一氏）		同意	全会一致									
	監査委員の選任（藤田 幸代氏）		同意	全会一致									
◆議会選挙													
議長の選挙		北 良晃氏 当選		得票数 北 良晃氏 27・北村拓哉氏 6・大西淳文氏 4・阪本美知子氏 1									
副議長の選挙		伊藤 剛氏 当選		得票数 伊藤 剛氏 26・山口裕司氏 7・佐野和則氏 4・酒井孝江氏 1									
◆動議													
令和4年度一般会計補正予算（第2号）に対する修正案		否決	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	
地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書		可決	全会一致										
介護職員の処遇改善に関する手続の簡素化と対象職種の拡大を求める意見書		可決	全会一致										
保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）の改善と保育士のより一層の処遇改善を求める意見書		可決	全会一致										
国立病院の機能強化を求める意見書		可決	全会一致										
◆請願													
土地利用規制法の廃止を求める意見書決議の請願書		不採択	×	×	○	※	×	×	×	×	×	○	×

※賛成 1 反対 4 注：議長は採決に加わりません。

（会派所属議員名）令和4年6月17日現在

会派名	議員数	所属議員名											
自民党奈良市議会・結の会	10	森田 一成	塚本 勝	榎本 博一	道端 孝治	太田 晃司	八尾 俊宏	山本 憲有	横井 雄一	土田 敏朗	北 良晃		
公明党奈良市議会議員団	7	森岡 弘之	宮池 明	早田 哲朗	藤田 幸代	田畑日佐恵	九里 雄二	伊藤 剛					
日本共産党奈良市議会議員団	6	山口 裕司	榊井 隆志	白川健太郎	山本 直子	井上 昌弘	北村 拓哉						
明日の奈良を創る会	5	内藤 智司	山出 哲史	樋口清二郎	鍵田美智子	阪本美知子							
日本維新の会奈良市議団	4	大西 淳文	山岡 稔季	佐野 和則	柳田 昌孝								



奈良市議会では、令和4年度から成年年齢が18歳に引き下げられたことから、若い世代の方々を対象に、対面とオンラインの方式を併用した議会報告会を5月20日に開催いたしました。

当日は、対面で34名、オンラインで4名の方にご参加いただき、3月定例会の内容を中心とした議会報告、参加者の皆様との意見交換を行いました。

今回頂戴したご意見については、これからの議会運営に生かすと共に、次回の議会報告会に反映させ、市民の皆様のご意見を生かせる報告会となるよう努めてまいります。

第9回議会報告会を開催しました

